



おおひ町国民健康保険名田庄診療所 所長
なか むら しん いち

中村 伸一 先生

平成元年に自治医科大学を卒業。平成3年に旧名田庄村（おおひ町名田庄地区）に赴任し、同地区唯一の医療機関である国保名田庄診療所の所長となる。総合医として幅広い診療で人口約3000人の地域医療を支え、保健・医療・福祉の連携により旧名田庄村の老人医療費や第1号介護保険料を福井県内で最も低いランクに抑えることを実現した。赴任後から町村合併するまでの在宅死亡率は約4割であった。また、日本専門医機構の総合診療専門医検討委員会ワーキンググループの委員として、総合診療の新たな制度設計に関わった。『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK）に出演

著書

『自宅で大往生―「ええ人生やった」と言うために―』（中公新書ラクレ）
『寄りそ医―支えあう住民と医師の物語―』（KADOKAWA）

8/20 11:30 ～ 13:00(90 分)

地域に“寄りそ医” 30 年

～人生で大切なことはすべて地域から学んだ～

中村先生からのメッセージ

都市部とはかけ離れた山間へき地での地域医療に従事して30年になります。限られた医療資源でも、できる限りの医療を提供して地域に貢献しようと努めてきました。若いころは何かの専門性を持っていない自分に後ろめたさもありましたが、地域に寄り添う医療にやりがいを感じ、「名田庄という地域こそ自分の専門」と思えるようになりました。飽きっぽい性格の私を長く同じ地域に留まらせている地域医療の魅力をお話します。



数学者・大道芸人

ピーター・フランクル 先生

1953 年ハンガリーに生まれ、1971 年国際数学オリンピック金メダル、オトボス大学入学。1977 年博士号取得。1978 年サーカス芸人国家試験合格、1979 年フランスに亡命。1988 年から日本在住。1992 年から算数オリンピック設立以来、専務理事。ハンガリーの最高科学研究機関であるハンガリー学士院のメンバーであり、日本ジャグリング協会名誉顧問。現在は人生を楽しむコツをより多くの日本人に伝えたいと、講演活動に力を入れている。語学にも長けており、大学で講義できる程度に話せる言語は 12ヶ国語。その才能を活かし、110ヶ国以上を訪問している。

著書

『ピーター流生き方のすすめ』（岩波ジュニア新書）
『数に強くなろう』（岩波ジュニア新書）

8/19 13:00 ～ 14:30(90 分)

「真の国際人を目指すために」

ピーター先生からのメッセージ

未だに、英語ができる故に国際人であると考えている人もいる。しかしこれはおかしい！アメリカ人の圧倒的多数が上の条件を満たすけれど、その多くは国外に出たことも無く、他国の文化への関心も低い。国際人であるかどうかは、言語能力より心の寛容さ、つまり他人や他文化への態度によって決まる。相手の国籍や学歴、人種や宗教と関係なく対等に交流できるのは、国際人の条件である。医療従事者を目指す皆さんには、真の国際人も目指してほしい。